

福岡県社保協

Fax Mail ニュース

2018.4.23 №59

福岡県社会保障推進協議会

電話 092-483-0431

FAX 092-483-0435

E-mail syaho@f-kenren.or.jp

学習会「驚き！医療と介護「改定」と国保の県単位化」を開催し、86名が参加しました。



4月21日(土)14時より、寺尾正之氏を招き、九州建設ビルで県社保協の学習会を開催しました。医療や介護、「国保の県単位化」など、これからの社会保障がどうなるのか、法律による「改革工程表」に基づいて、2018年度から本格的に始まる改悪内容について詳しく学びました。講演の最後には、「所得格差の拡大は、経済成長を大幅抑制している」「貧困、格差、労働環境の改善など社会的・経済的な要員の解決を求め、医療、介護、社会保障制度の充実をすべきである」と経済協力開発機構(OECD)調査や世界保健機構(WHO)など国際常識であることに触れられま

した。憲法25条の生存権保障を実現する、平和的生存権を定めた9条を守ることが強調されました。

■社会保障についての矛盾や怒り、困っていること、社保協への要望など

「具体的な話で高齢者をターゲットにした改悪の中身がわかった、国は責任を完全に放棄している」「自分の居住地がどうなっているのか、どうなっていくのか考える機会になった」「地域別の診療報酬の設定の検討を初めて聞いた、こんな差別は反対」「介護報酬改定があるたびに事業所は振り回される」「国保の県単位化、保険者努力支援制度は危険な制度だと思う」「今回のような学習会は大変重要。広めていってほしい」「教育にける公的な制度予算が日本は貧弱、せめて高校までは平等に学べる機会を」「資料を議会の中でも使い住民の生活改善につなげたい」「非自発的失業、20・50歳代の失業者を周囲に多く見受けられる、どうすればいいのか」「障害と介護の65歳問題」「介護の講演をお願いします」・・・など沢山の声が寄せられました。

■県社保協の大脇会長より、参加のお礼と「自治体の職員の皆さんを味方につけて一緒に、福岡県の社会保障改善運動を広げていきましょう」と閉会の挨拶が述べられました。



※講演資料(寺尾正之さん)を希望される方は、メールアドレスをお知らせください。送信をいたします。

第24回福岡県社保協定期総会のご案内

日時：2018年6月9日(土) 総会 14:00～ 記念講演 15:30～17:00

会場：博多駅バスターミナルビル9階

記念講演：伊藤周平先生(鹿児島大学法文学部教授)

どうなる? 「医療」と「介護」のゆくえ ～今後の社会保障改善運動のすすめかた